



百人一首と CL(二)

2016

David K. Reynolds

この随想集は日本の百人一首が元になっています。どの作者の詠んだ一首か、捜し当てるのも一興です。アメリカ・ロスアンゼルス市の CL インストラクター Paul Kroner さんが世界中のインストラクターに毎月発信している“CL News”letter”に一首ずつ掲載されています。

愛の流れに漂いながら
景観と岩や倒木を見落とさないように
ときには頑丈な船を作るために陸に上がって

すべてを予測しようと多くのことが進んでいる
地図は正確に現実を示すわけではない
言葉も同様に

いつも二人が離れているのはおかしい
また、いっしょになるのを待ちながら
いろいろとする

すべての道路の出入口は開いている
この車はブルブル音をたてている
どの出口のランプに向かうべきか

私についてあなたに教えていないことがある
自分でもわからないから
それでいい
知るべきことはたくさんある
あなたの見方をじゃましたくない

作業の合間
新しい仕事を植えなさい
仕事に終わりはない
なんと素晴らしい！

その値段で支払うのをためらわないで
見えないだいたいの価値がある
値段への気分ととらわれに気をつけて

眠れなくて、あなたを起こさないように
ソファまでつま先立ちで歩く
そしてソファでまどろむ

爽やかなそよ風が心と身体をよろこばす
木々の葉のそよぎと風鈴の音
風は動けとほほをたたく
ありがとう、そよ風さん

じっと見つめる月は見方を示す
反射した光、時が変化する
夜間学校

飛行前の祈りを忘れる
新たに生きてゲートを出る
しっかりした大地の歓迎を受けて

愛には限りがあると
年取ってから学んだ
今、おなかですいて、眠い

(アメリカ・オレゴン州 CL センター 所長)